

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

夏期一時金 (ボーナス) 6月30日支給 切実な職場実態から目を逸らす不誠実な回答 すべての教員の賃上げ、教職員増をめざし働きやすい職場づくりを!

2025府労組連 夏季闘争

5月26日、府労組連(大阪府関連労働組合連合会)は、「2025年府労組連夏季要求書」を提出しました。物価高騰を上回る大幅な賃金引上げ、子どもたちにゆきとどいた教育を保障するに相応しい労働条件の改善を求めて、折衝・交渉を重ねてきました。

6月20日、総務部長との団体交渉を行った結果、総務部長は府労組連に対する最終回答を行いました。

切実な職場の実態を訴え、要求実現をせまる

交渉では、支援学校教員から、「長時間過密労働の深刻な実態を解消するために、教職員増、代替講師確保のための抜本的な欠員対策をおこなうべき」と訴えました。その他、「再任用職員の賃金水準を職場実態に見合ったものに」「不登校の子どもの対応のために、せめて介護休暇などを使えるように」など、各職場から切実な実態を訴えました。

総務部長から示された最終回答では、この間、府労組連が強く要求してきた非常勤職員の病気休暇の有給化について「現行の府における付与条件や付与日数及び国制度を勘案して検討していく」との回答を引き出し、有給化に向けた足がかりを得ました。

今季闘争のおもな最終回答

- 夏期一時金(ボーナス)を
6月30日に支給
夏期一時金支給月数は次の通り
- ◆職員 2. 3月
- ◆再任用職員 1. 20月
- ◆会計年度任用職員 2. 3月

評価制度の給与反映のための原資として、全教職員の勤勉手当から一律に0.03月分が差し引かれます。また、評価結果によって勤勉手当の支給率が変わります。

【夏季要求交渉での前進的回答】

- ◆育児部分休業：2025年10月から、1年につき10日(2025年度は5日)相当時間数の範囲内での取得を選択できるよう制度を拡充。
- ◆非常勤職員の病気休暇：現行の府における付与条件や付与日数及び国制度を勘案して検討していく。

堺支援学校の学校給食を民間委託化

6月2日、府教委は、大障教に対して2026年度から堺支援学校の学校給食調理業務を民間委託することを説明しました。府教委は、2004年の3校から民間委託化を順次拡大し、直営による学校給食は、南観音および藤井寺支援の2校となります。

府教委は、民間委託化を拡大するために参入業者の資格要件を2回にわたって緩和しています。現在は、調理業務に従事したことがない人でも調理業務を担うことができるようになっていきます。

2021年度末には、度重なる問題の改善が見込まれない業者に対して、委託契約を解除する事態に発展しています。そればかりか、2023年9月には、摂津支援、吹田支援、守口支援で委託業者の都合により学校給食の提供が滞る事態になりました。

大障教は、学校給食調理業務の民間委託化方針の撤回とともに、新たな委託を中止し、その検証を求めています。併せて、現在勤務する給食調理員の雇用保障を強く求めています。

しかし、府労組連がこの間の交渉で強く求め、現場の実態を踏まえて厳しく追及してきた全員の賃上げ、常勤非正規教員の2級適用、教職員の長時

間労働解消、正規教職員増、「穴あき」解消、子の看護等休暇の要件・日数拡大、不登校の子や障がいのある子を養育する職員が取得できる休暇制度、非常勤職員の賃上げなどの要求に対する前進的な回答はなく、きわめて不満の残る内容となりました。引き続き、問題点や要求の集約を重ね、秋季年末闘争に向けたとりくみをすすめます。大障教は、大教組・府労組連に結集し、これらの実現に向けて引き続き全力で奮闘します。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス:fushoukyou1@mtb.biglobe.ne.jp

書記局のひしひしと

子どもの好きな料理に必ずランキング入りする「お寿司」。安くておいしい、食べたい物を選んで取れるため、我が家の外食はもっぱら回転寿司にお世話になっている。しかし、CMでも華やかな印象の回転寿司業界の裏側では、非正規労働者が厳しい労働環境におかれている実態があることに驚いた。

回転寿司チェーン「スシロー」では、従業員5万4千人のうちパート・アルバイトの非正規労働者が96%を占める。その非正規労働者たちに対して、出勤打刻システムを悪用した未払い労働、いわゆる「タダ働き」の実態が報道されている。具体的には、出勤時は9時56分、9時59分に打刻しても10時と記録され、退勤時は17時01分、17時04分に打刻しても17時と記録され、最大8分のタダ働きとなっていた。

この問題に対して、当時大学生アルバイトの2人が立ち上がり、2022年10月に「回転寿司ユニオン」を結成。記者会見が大きく報じられたことで、会社は賃金計算方法を1分単位に変更した。その後、それまでの5分単位計算や始業開始前の準備時間(手洗いや業務連絡ノート記載等)への賃金未払い問題についても、遡っての支払いを拒否していた会社が、労働基準監督署への告発・是正勧告をうけて、2024年4月には2021年4月から1年4か月分を「解決金」として全従業員に支払った。「声をあげることで変えられる」という粘り強い労働組合のたたかいに大きく励まされる。

「タダ働き」問題は、学校現場にも蔓延している。様々な問題を含む「給特法等改正案」が6月の参院本会議にて可決された。今後は法案を具体化させないために、誰かに任せるのではなく、みんなで声をあげませんか。

青年部との共催で印象深い平和学習

た。
今は世界で何が起こっているのか、映像で見えしまうとその規模の大きさに無力感に襲われるというのもあるかもしれないません。でも、何かできることはないか、と学ぶ姿勢は大事だと感じた学習会でした。歴史から学ぶことができたのは人間に与えられた能力です。これからも様々なことにアンテナを張りながら、自分にできることは何か？と考え続けていきたいと思っています。

とりくみで印象深かったの

とりくみて印象深かったのは、青年部との共催で平和学習を行ったことです。前年度の女性部の学習会で満州引き上げのお話を伺い、長く続く戦争のニュースが毎日ある中女性部でも平和についての学習をさらに深めたいという意見が大きくなっていました。その中で「立命館国際平和ミュージアム」の話が出て、ここ数年行っていないから久しぶりに



交渉では、人的措置・予算措置・業務の改善など事務職員は言うまでもなく、全教職員にかかわる事項について交渉しています。要求実現には長年の粘り強いとりくみが欠かせないです。

大障教の専門部交渉でも要求し、一部実現しています。

昨年11月、全教事務職員部の文部科学省交渉に参加しました。就学奨励費の実費支給の問題点・レシート提出の煩雑さ、昨今の物価高による学用品費・修学旅行費等の上限額との乖離の問題点を指摘し、定額支給化・レシート提出の省略・上限額の引き上げを要求しました。

という内容です。しかし、「働き方改革」は、学校全体でやるものであり、総務事務システム導入等で事務職員を削減しておいて無奈な話です。やるならば、最低限それに見合った予算又は人員を措置するものが筋です。それも訴えていきます。

最近では、事務職員の年度途中退職や休職等があります。本庁では臨時的任用職員の発

例えば、2年越しの話で、大教組の学校総務サービス課との交渉に出席し「退職手当試算のような各種短時間勤務休業に係る給料試算シート」の作成について要求しました。

教頭の事務軽減が、昨年年度末、突如として事務長会にすら説明の無い中で出てきました。これは、教頭の勤怠管理が負担になっているため、チェエクの部分を事務室に担わせ

録制度ができました。しかし府立学校は対象外になっていきます。本庁と大差ない登録制度の実施など具体的方策を求めています。

榮養教員部

榮養教諭または臨時技師は府立支援学校38校に配置されています。組合員は30代、40代の子育て世代です。昨年度は、オンラインで会議を実施し、2人が育休中でしたが会議に参加できました。また、子連れでも参加でき

ての栄養教諭に配布しました。そのとき、初任の栄養教諭から「組合ってなんですか?」と質問されました。組合が何をしているのか知ってもらったとは、本当に大切なとりくみだったと感じました。今後も続けたいと思います。

ことです。後者については市町村と同じく、免許を持っている臨時技師をすぐに配置してほしいと訴えてきました。

長年の訴えにより、今年度、欠員補充として東大阪支援に試験的運用として、栄養教諭とは別に臨時技師が配置

るように、休日のランチの時間でも2回交流会を行いました。子育て世代は、会議をもつことと自体が難しいことがあります。しかし、集まって話すことで要求が出て、とりくみにつながり、元氣になります。

昨年度の冬は、組合のとりくみをまとめた資料と実態要求アンケートを作り、すべ

次に、栄養教員部が訴え続けてきたことです。

ひとつ目は、栄養教諭の産休等による代替者を臨時教師ではなく栄養教諭を配置すべきということと、ふたつ目に体育実技軽減等の配置は免許の有無を問わない非常勤職員配置だが、栄養教諭の配置にすべきであるという

されました。私たちの要求に沿ったものではありませんが、訴えが府教委を動かしていることに確信をもちたいと思います。

安全・安心・おいしい給食を提供し、子どもたちの健康教育に力を入れていくためにも、引き続き、力を合わせて頑張っていきたいと思えます。

おつかれさまでした！



藤井寺支援分会 東代議員



守口支援分会
堀内代議員

佐野支援分会
山本代議員

高槻支援分会
岡本代議員



茨木支援分会 北中代議員

堺支援分会 内山代議員